

05

SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE



製造業
(機械金属系)

株式会社 佐賀鉄工所

完全一貫生産システムで
高品質のボルトを提供



ボルトの専門技術者集団

昭和13年(1938年)に創業した佐賀鉄工所は、昭和20年代から自動車、農業機械に使用されるボルトの提供に特化し、現在は自動車用ボルトのトップメーカーです。佐賀工場をはじめ国内外8カ所に製造拠点をもち、月に1万種類以上、数億本に及ぶボルトを生産。「材料の加工から成形、ねじ転造、熱処理、表面処理など、全ての工程を自社内で確実に管理する“一貫生産方式”を採用しています」と中島工場長。業界でも数少ない生産体制で、各工程の徹底した品質管理が高品質・高機能のボルト製造を可能にしています。

その中でも主要製品とされているのが高強度ボルトです。自動車の心臓部と言えるエンジン部分に使用するため、高いスペックが要求されます。日本では、製造できるメーカーが数社に限られ、高強度ボルトを製造できるかどうか、ボルトメー

カーの技術力を計る尺度とも言われています。

企業ブランドの立ち上げ

創業80周年を迎えた平成30年(2018年)には、コーポレートブランドの“DEXTECH”^{デクステック}を立ち上げ、同社が初めて海外進出をして大きな転換点になった、アメリカの子会社の社名が由来で、「地元では“佐賀鉄工所”という名称が親しまれていますが、業務内容がイメージしにくく、特に海外では分かりにくいようです」と中島工場長。ブランド立ち上げは、自社の強みをさらに磨き上げ、国内外でお客さまに安心していただける確かな製品と未来を切り開く締結技術を提供し続ける礎と言えるでしょう。

同社の強みは、単に設計図通りのボルトを作るのではなく、仕様に応じた最適な締結技術を提供できることです。締め付けに

バラつきがなく、一定の力で締結ができるかを分析・評価するための部門もあり、日々、研究開発に取り組んでいます。まさに、小さなボルトで支える大きな未来。ガソリンから電気へと自動車は進化し、時代が求めるボルトが変化したとしても、業界屈指のものづくり力で産業社会の発展に貢献し続けていきます。



佐賀工場長
なかしま なおき
中島 直樹

デクステックブランドの
高強度エンジンボルト



株式会社佐賀鉄工所

☎ 0952-31-2111

[所] 佐賀市神園1-5-30

[代表者] 代表取締役社長 坂田 潤一(さかた じゅんいち)

[創業] 昭和13年(1938年)

[従業員] 803名(国内)

[HP] <https://www.dextech.co.jp/> 佐賀鉄工所 検索

ここがポイント!



毎月、数億本も生産するボルト一本一本に責任を持つため、全数検査ラインで異品混入や形状不良をチェック。あらゆる角度から徹底的に行う品質管理は、“一本も不良品を出さない”という強い決意の表れです。厳しい検査を合格したボルトだけが世界中の車で使用されています。